

平成 22 年 9 月 3 日

5号機における原子炉隔離時冷却系の不具合の復旧について

先にお知らせしました「福島第一原子力発電所5号機における原子炉隔離時冷却系^{*1}（以下、当該系統）の不具合について（[平成22年9月2日](#)お知らせ済み）」については、自動停止した当該系統におけるタービン回転速度の上昇を知らせる警報が確認されたことから調査を行ったところ、タービンへ供給する蒸気量を加減している蒸気加減弁を制御する信号ケーブルが外れていることを確認しました。

その結果、蒸気加減弁への制御信号が伝わらず、蒸気加減弁が全開状態から制御されなかったため、タービン回転速度が上昇し、自動停止に至ったことがわかりました。

そのため、当該系統の他の機器について異常のないことを確認した上で、蒸気加減弁を制御する信号ケーブルを復旧しました。

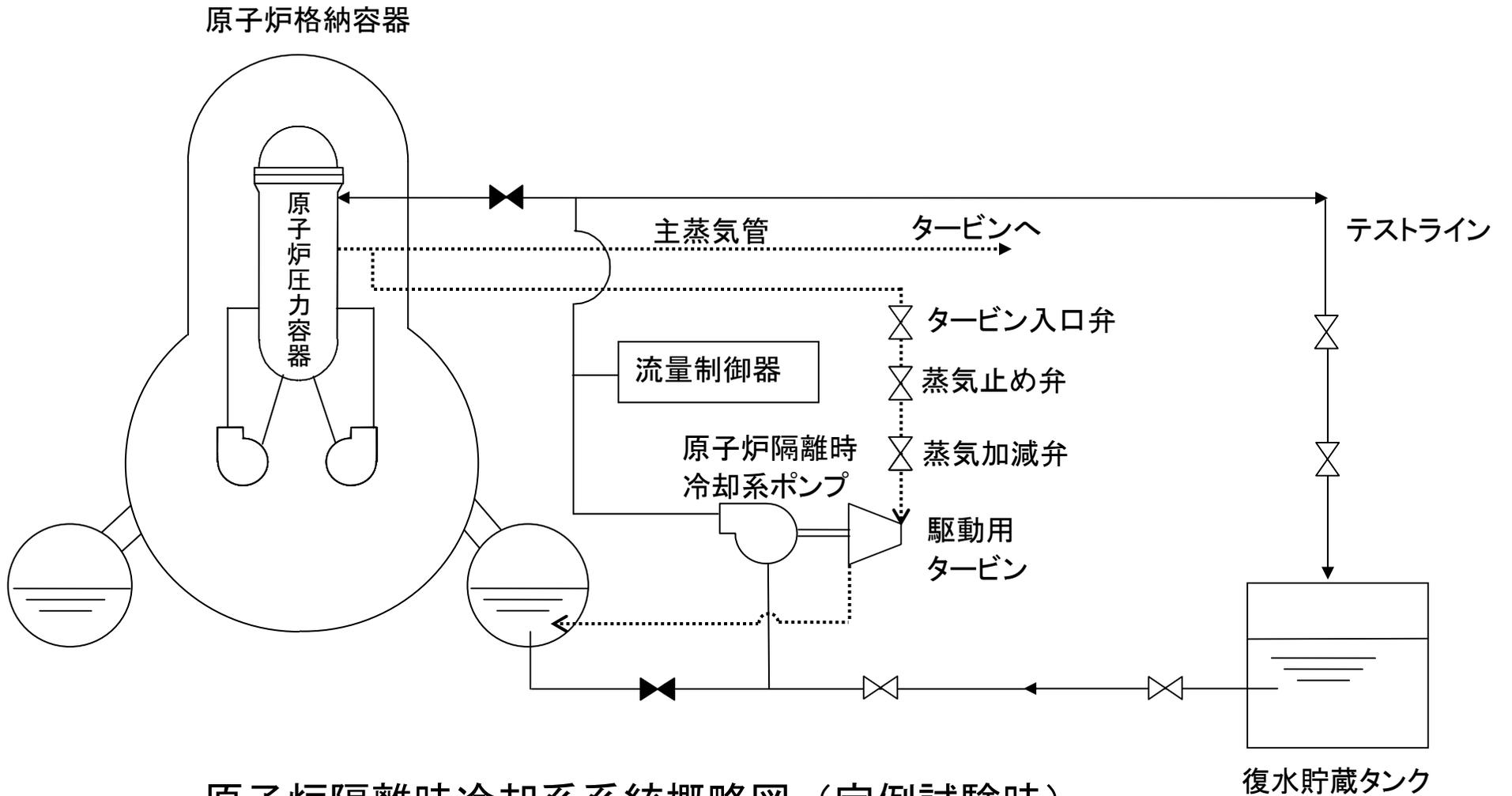
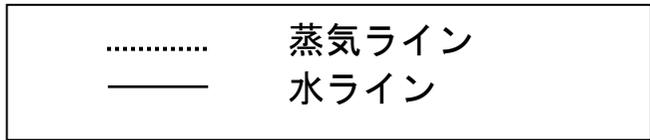
その後、当該系統の確認運転を実施し、機能に異常がないことを確認したことから、9月3日午後6時4分、当該系統が動作可能な状態に復旧したと判断しました。

今後、蒸気加減弁を制御する信号ケーブルが外れていた原因について、ヒューマンエラーの可能性も含めて、引き続き調査します。

以 上

* 1 原子炉隔離時冷却系

何らかの原因により、通常原子炉給水系が使用できなくなり、原子炉水位が低下した場合等において、原子炉の蒸気を駆動源にしてポンプを回し、原子炉の水位確保および炉心の冷却を行う系統。なお、本系統は非常用炉心冷却系ではない。



原子炉隔離時冷却系系統概略図（定例試験時）